

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期	
科目名	こどもの指導法「音楽表現」第3教程	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	川内菜央・寺内めぐみ・市嶋融介	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。					
授業のねらい(到達目標)	目を同運つ、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける					
授業概要	「音楽基礎Ⅰ」「音楽基礎Ⅱ」「こどもの音楽Ⅰ」で身に付けた演奏技術をさらに向上させ、保育士および幼稚園教諭に必要とさせるレベルまで到達させる。特に、保育・教育に出て演奏の成果を発揮できるように、実践を意識した取り組みを行う。					
テキスト	「こどものうた50選」「ブルクミュラー25の練習曲」「コールユーブンゲン」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定・評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	総合評価算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期	
科目名	教育実習事後指導	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	高木 亜紀	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活や学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象とした職業体験学習など)をもとに授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で学修した知識、技術と一般的な教養を基礎として実際の教育現場で実習する。 ・経験豊かな指導教員の下で、幼児と触れ合い実習する。 ・幼稚園教諭となる為の基本的な能力と態度(個別指導、クラス指導、幼稚園行事等)を養う。 					
授業概要	①幼稚園教育実習の反省や評価を基に、これまで修得した専門知識を振り返る。②幼児の生活や発達の理解、幼児の発達を促す指導の在り方(環境構成や教師の援助)についての学修を演習を通して深めていく。③保育者に求められる専門的な知識が定着出来るように学びを深める。④幼稚園教育をめぐる諸問題及び解決のための取り組み等について知見を広げる為、事例問題についてグループで話し合い、専門性の向上を図る。					
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・9園実習について・学びをいかす保育実習ハンドブック・保育実習学・保育者の常識67・DVD「幼児とのかかわりを考える」・幼稚園教育要領解説・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 					
授業計画	第1回	幼稚園教育実習とは				
	第2回	幼稚園実習の部分・責任案の作成方法、一斉活動について				
	第3回	考察について				
	第4回	実習前準備(部分、責任に使うもの)				
	第5回	実習前準備(部分、責任に使うもの)				
	第6回	振り返り、自分の課題について				
	第7回	部分、責任案を立案、実践、振り返り				
	第8回	部分、責任案を立案、実践、振り返り				
	第9回	実習前準備(ファイル、部分、責任案に使用するもの)				
	第10回	実習前準備(ファイル、部分、責任案に使用するもの)				
	第11回	振り返り、自分の課題について				
	第12回	振り返り、自分の課題について				
	第13回	エピソード発表				
	第14回	理想とする幼稚園教諭像とは				
	第15回	理想とする幼稚園教諭像とは				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年
科目名	教育実習	授業形態	実習	単位数	4単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<p>1. 実習生の姿勢・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> マナーを守り、意欲的に取り組む 礼儀正しく、謙虚な姿勢で学ぶ 自分から進んで質問をし、実践的な学びを深める 実習園の特色や保育方針を理解し、課題を明確にして実習に臨む 「今日の課題」を考察し、「明日の課題」を明確にしながら学びを積み上げようとする 「個」と「集団」に積極的に関わり、観察し学びを深める <p>2. 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児の「前に立つ」ための準備をして実習に臨む 3歳児から5歳児の発達を理解し実習に臨む 保育におけるPDCAサイクルを理解する ピアノや絵本の読み聞かせなど、保育技術を磨いて実習に臨み、実践の場においてさらなる向上を目指す 幼児の言動から心情を感じとりながら、関わることができる <p>3. 実習日誌</p> <ul style="list-style-type: none"> 各年齢の発達の特徴や保育の流れやつながりを理解して時系列に記録ができる 幼児に対する保育者の働きかけを具体的に記録できる 幼児の姿を観察し、場面の記録を書くことができる 「気づき」を書く事ができる 保育者の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くことができる 「個」と「集団」の姿を記録できる 幼児との関わりを詳細に記録し、省察することができる <p>4. 指導案</p> <ul style="list-style-type: none"> ※教育実習Ⅰでは、記録に重点を置き、指導案は教育実習Ⅱの課題とする 子どもの姿を予測し、配慮事項や留意点を挙げる事ができる 導入、展開、まとめを一連の流れとして立案できる <p>5. 手続きと提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> 期日を守り、自主的に進められる 期日を確認し、計画的に進められる 				
授業概要	<p>実際に幼稚園の生活を体験する中で、園生活の流れと幼児の生活、発達の姿、幼稚園教諭の職務を理解できるように指導する。</p> <p>教育実習Ⅰでの経験を基礎として、観察や指導案に基づいた実践を行う。幼稚園の教育理念や教育課程を把握し、「個」と「集団」の理解、幼稚園教諭の職務に対する理解等がさらに深まるよう指導する。また、指導案を作成し実践的な体験を通して学べるよう指導する。</p>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の等の基準に基づく)及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)
科目名	保育実習ⅡⅢ	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園幼稚園小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●実習生の姿勢態度 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の方針を理解の上、保育者と子ども・利用者とのかかわり方を学び、適切に行動する ・現場で働くことを意識しながら保育実習の経験を活かし主体的に動く。 ●知識、技能 <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を気づくための技術を身につける ・施設(施設・保育園)の役割と社会的な位置づけを知り、理解に繋げる ●実習記録 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや利用者とのかかわりから保育士の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くこと出来、深く考察する ・「個」と「集団」それぞれの姿の違いを記録できる ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ●指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。 ●提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・誰が見ても分かる書き方や誤字脱字のない記録や指導案の作成 ・期日を守って提出する 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉施設における実習を通して施設における子ども・利用者の生活をりかいするとともに、様々な職種の連携について知り、保育者士として必要な支援技術の向上を目指し、指導する。 ●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。 				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	子育て支援	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解し身につける。 子育て支援の意義や役割について理解し、保育者としての子育て支援の基本姿勢について関心を持ち、子育て支援の意義や役割、基本姿勢など支援の実際を学ぶ。						
授業概要	保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解するとともに、保育士の行う子育て支援の展開を学ぶ。						
テキスト							
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	保育の専門性と子育て支援					
	第3回	保護者に対する子育て支援					
	第4回	ソーシャルワーク理論					
	第5回	保育士の行う子育て支援(方法)					
	第6回	保育士の行う子育て支援(技術)					
	第7回	共感的理解、傾聴					
	第8回	非言語コミュニケーション					
	第9回	自己覚知(演習)					
	第10回	価値観(演習)					
	第11回	記録(演習)					
	第12回	社会資源(演習)					
	第13回	事例分析①					
	第14回	事例分析②					
	第15回	事例分析③					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	乳幼児保育Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	私立乳児園、保育園での勤務経験から、現場で求められる乳児保育担当者の資質・能力が培われるよう実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解する。						
授業概要	1. 観察実習を通し、3歳未満児の発達やそれに沿った保育者の関わりを知る 2. 観察実習でのエピソード記録から、子どもの言動や保育者の関わりの意図を個人、グループ、クラス全体で考察する。 3. 養護が教育の一部であること、すべての経験が学びとなっていることを理論的に考察する。						
テキスト	豊岡短期大学「乳幼児保育」・保育所保育指針						
授業計画	第1回	乳児保育の基本 乳児の特徴					
	第2回	養護と教育の一体化					
	第3回	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿と乳児保育					
	第4回	乳児の発達① グループワーク					
	第5回	乳児の発達② グループワーク					
	第6回	乳児の発達③ グループワーク					
	第7回	乳児の発達④ グループワーク発表					
	第8回	保育者の関わりと援助① DVDの事例から					
	第9回	保育者の関わりと援助② DVDの事例から					
	第10回	保育者の関わりと援助③ DVDの事例から					
	第11回	環境による保育① グループワーク					
	第12回	環境による保育② グループワーク					
	第13回	環境による保育③ グループワーク					
	第14回	単位認定試験					
	第15回	期末試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期	
科目名	保育・教職実践演習	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	1. これまで修得した保育の専門知識の振り返りによって保育の専門的基礎力の定着を図る。 2. 専門的知識技能の実践への応用、課題解決能力を高める。					
授業概要	現在の保育実践上の課題、子どもや子育てに関わる環境上の諸問題を自ら発見し、その改善に向けての方策を考える。 問題発見能力、課題解決能力、実践への積極的態度を養うため、現在の保育問題(少子化、保育制度、子育て支援、幼小連携等)について調べ、身近な具体的課題を設定し、テーマ毎に研究、グループ討議、研究発表を行う。					
テキスト	配布資料					
授業計画	第1回	保育者の専門性とは何か				
	第2回	日本における保育実践上の課題について① 児童福祉行政における問題点				
	第3回	日本における保育実践上の課題について② 児童虐待				
	第4回	日本における保育実践上の課題について③ 多文化保育				
	第5回	日本における保育実践上の課題について① 統合保育				
	第6回	日本における保育実践上の課題について① 児童虐待				
	第7回	グループ討議① 保育における地域との連携について				
	第8回	グループ討議② 現代の保護者の子育て意識と保育施設、保育者の役割について				
	第9回	グループ討議③ 都市化現象が子どもの生活と発達に及ぼす影響について				
	第10回	グループ討議④ 保護者支援の方法について				
	第11回	グループ討議まとめ 模擬授業①				
	第12回	グループ討議まとめ 模擬授業②				
	第13回	グループ討議まとめ 模擬授業③				
	第14回	子どもの遊びを豊かにする環境構成、材料、保育者の関わりについて				
	第15回	まとめ 保育者に求められる質とは何か				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年	
科目名	R・G・S	授業形態	講義	単位数	1単位	
担当教員	本田 拓也	実務経験の有無	×			
実務経験教員の経歴						
授業のねらい (到達目標)	次年度に控える就職活動に向けて、就活スキルやマナーを身につける。					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの生き立ちを振り返りながら「自己分析」をする。 ・ 自身の進路に対する希望を明確にし、「園研究」をする。 ・ 「履歴書」「添え状」等の書き方を学ぶ。 ・ 面接の場にふさわしいマナーや立居振舞を学び、面接練習をおこなう。 					
テキスト						
授業計画	第1回	前年度の就職状況の説明				
	第2回	就職活動のルール 前期のスケジュール確認				
	第3回	求人票の見方① 課題 労働法				
	第4回	求人票の見方② 課題 労働法				
	第5回	就職活動の書類準備				
	第6回	就職活動の書類準備				
	第7回	園研究①				
	第8回	園研究②				
	第9回	面接立居振舞①				
	第10回	面接立居振舞②				
	第11回	面接とは				
	第12回	面接準備①				
	第13回	面接準備②				
	第14回	模擬面接①				
	第15回	模擬面接②				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)		
科目名	教材研究Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	円山昭子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行						
授業のねらい (到達目標)	保育の「すきま時間」を楽しく有効に活用するための様々な遊びを習得する 自ら調べて保育のポケットの充実を図ると共に、演じ方や応用法を習得し現場での実践力をつ ける						
授業概要	創意工夫を加えて保育グッズ作りをし、実演して学びあう 活動の切れ間など、ちょっとした時間にすぐ楽しめるあそびを様々なジャンルから探し、 確実に使えるものになるよう 必要なものを作ったり使用法を考えてまとめていく						
テキスト	「すきま時間あそび107」&必用に応じプリント配布						
授業計画	第1回	テキスト「すきま時間あそび」を一冊まるごと遊んでいく					
	第2回	↓					
	第3回						
	第4回					一週間実習に備え、ポケットネタ帳を充実させたり簡単グッズを作る	
	第5回	幼稚園実習と就職後を見据え、様々な年齢・場面で使えるグッズを各々調べて作りためていく					
	第6回	フォーカラーマジックの制作					
	第7回	※グッズは難易度によって1～5個程度。 一つ完成するたびにみんなの前で発表と展示を繰り返していく					
	第8回						
	第9回						
	第10回	グループに分かれてフォーカラーマジックのできるものを発 表し合い 実践する時のレパートリーを増やしていく					
	第11回						
	第12回						
	第13回	↓ グッズの集大成の発表と展示					
	第14回	体を動かすあそびうた・ふれあいあそび・体操など					
	第15回	ものを使っての遊び・ゲームなど					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)									
科目名	教材研究Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位									
担当教員	円山昭子	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	公立保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行													
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら調べて保育のポケットを充実させる・実践方法を研究し合い現場での実践力をつける ・授業で提供される遊びの教材なども確実に使えるようにする 													
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育のポケットの充実 ・日々の保育で使える保育グッズの制作 ・季節感のある様々なあそびについての学びを通し、発展の方法を考える 													
テキスト	「すきま時間あそび」とプリント													
授業計画	第1回	動くおもちゃ・化学系おもちゃの制作とあそび方												
	第2回	〃												
	第3回	〃												
	第4回	校外学習準備												
	第5回	校外学習で公園に出かけ、自然に触れる 自然物を採取する												
	第6回	〃												
	第7回	自然物を使った制作をする												
	第8回	〃												
	第9回	グッズ制作(クリスマス関連含む)												
	第10回	〃												
	第11回	〃 (見せ合いと実践発表)												
	第12回	毛糸関連の制作とあそび												
	第13回	〃												
	第14回	冬の手あそびふれあい遊び												
	第15回	まとめ												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)		
科目名	情報処理Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	金子 憲史	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	テクノスクールでのパソコン技術指導						
授業のねらい (到達目標)	就職してから作成することになるおたよりを作成できるようにする(ひな型を使用せずに新規で作成する)。後期の最終成果物であるデジタル絵本をPowerPointで作成してもらうため、PowerPointの基本操作をおさえる						
授業概要	前半:Wordを用いたおたより作成(作成上のポイント説明後、各自演習) 後半:PowerPointの基本操作(前期期末試験はPowerPointで行う) 毎回その日の授業時間内に作成した成果物を提出してもらうため、USBメモリを必ず持ってくる						
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・おたより文例&イラストカット集 ・できるPowerPoint2016 						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	連絡網(図形操作中心の事例)作成					
	第3回	おたより作成演習(入園式)					
	第4回	おたより作成演習					
	第5回	給食だより(表機能の活用)作成					
	第6回	前期中間課題作成					
	第7回	前期中間課題作成					
	第8回	前期中間課題作成					
	第9回	おたより作成演習+最終成果物オリエンテーション					
	第10回	PowerPoint基本操作(テキスト第2章、第3章)					
	第11回	ミニ演習 PowerPoint基本操作(テキスト第5章、第6章)					
	第12回	PowerPoint基本操作(テキスト第7章) ミニ演習					
	第13回	期末前演習					
	第14回	期末前演習					
	第15回	期末前演習					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)		
科目名	情報処理Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	金子 憲史	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	テクノスクールでのパソコン技術指導						
授業のねらい (到達目標)	デジタル絵本の作成						
授業概要	画像・図形の作成・編集、アニメーションの設定、音楽の挿入など、デジタル絵本作成に役立つ機能を演習を通じて扱う 10コマ目にデジタル絵本の絵コンテを提出してもらう						
テキスト							
授業計画	第1回	ペイントを用いた描画演習					
	第2回	ミュージックビデオの作成					
	第3回	写真入りの年賀状作成					
	第4回	メッセージカードの作成、最終成果物ガイダンス					
	第5回	メッセージカードの作成、最終成果物ガイダンス					
	第6回	アニメーションの総合演習、最終成果物ガイダンス					
	第7回	アニメーションの総合演習、最終成果物ガイダンス					
	第8回	中間試験前演習					
	第9回	後期中間試験					
	第10回	デジタル絵本の作成					
	第11回	デジタル絵本の作成					
	第12回	デジタル絵本の作成					
	第13回	デジタル絵本の作成					
	第14回	デジタル絵本の作成					
	第15回	デジタル絵本の作成					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)		
科目名	リトミック応用	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導16年						
授業のねらい (到達目標)	年齢別のリトミック指導法をティーチングを通して理解する。 簡単なリトミック遊びを身に付け実習や就職してからできるよう実践力をつける。						
授業概要	保育園において、指導者が園児に指導している様子を1歳児～5歳児まで見学し、年齢別指導法を学習する。 いろいろなリトミックの手法を実際に動きながら、ねらいも含めて学習し、就職してから実践できるようにリトミックの楽しさを体験する。						
テキスト	リズム&ゲームにどっぷり/世界の歌を遊ぶリトミック・ゲーム67選 子どものためのリトミックde発表会/アクション&ビートでつくる音楽鑑賞の授業						
授業計画	第1回	新潟えきなか保育園リトミック指導見学					
	第2回	新潟えきなか保育園リトミック指導見学					
	第3回	からだのなかの音楽					
	第4回	ビートにのる①					
	第5回	ビートにのる②					
	第6回	拍子を感じる①					
	第7回	拍子を感じる②					
	第8回	フレーズ・呼吸・空間①					
	第9回	フレーズ・呼吸・空間②					
	第10回	ロープdeゲーム～イメージあそび～					
	第11回	対話を楽しもう～即興演奏～					
	第12回	歌&楽器deゲーム①					
	第13回	歌&楽器deゲーム②					
	第14回	音楽と動き					
	第15回	自然な動きを用いた音楽ゲーム					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)		
科目名	リトミック応用	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導16年						
授業のねらい (到達目標)	年齢別のリトミック指導法をティーチングを通して理解する。 簡単なリトミック遊びを身に付け実習や就職してからできるよう実践力をつける。						
授業概要	保育園において1歳児～5歳児まで実際に学生が指導計画案を立て指導する。 いろいろなリトミックの手法を実際に動きながらねらいも含めて学習し、就職してから応用できるように楽しい体験をする。						
テキスト	リズム＆ゲームにどっぷり/世界の歌を遊ぶリトミック・ゲーム67選 子どものためのリトミックde発表会/アクション&ビートでつくる音楽鑑賞の授業						
授業計画	第1回	新潟えきなか保育園リトミック指導					
	第2回	新潟えきなか保育園リトミック指導					
	第3回	音楽の「かたち」を体験①					
	第4回	音楽の「かたち」を体験②					
	第5回	音楽の「つながり」を体験①					
	第6回	音楽の「つながり」を体験②					
	第7回	ボディー・パーカッション					
	第8回	旋律や動きの体験					
	第9回	いろいろなリズム・ゲーム					
	第10回	リズムの変化を楽しむ					
	第11回	旋律・フレーズ・形式・和音の変化を味わう					
	第12回	創造的な動きを楽しむ					
	第13回	リトミックと発表会					
	第14回	幼児のリトミック発表会					
	第15回	さまざまなリトミック発表会					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)		
科目名	実習指導Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	外部実習に向けて準備を充実する <ul style="list-style-type: none"> ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して考察や「活動」を多方面から考える ・実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次の実習に繋げる。 ・見通しを持ち場面に対応して動く力や相手に伝える力を身につける 						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。 						
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等						
授業計画	第1回	グループ園実習の準備					
	第2回	グループ園実習の振り返りをする。教育実習準備①					
	第3回	教育実習準備②					
	第4回	教育実習準備③					
	第5回	教育実習準備④					
	第6回	教育実習準備⑤					
	第7回	教育実習準備⑥					
	第8回	教育実習準備⑦					
	第9回	教育実習準備⑧					
	第10回	教育実習の振り返りをする					
	第11回	事例検討①					
	第12回	事例検討②					
	第13回	事例検討③					
	第14回	保育実習ⅡⅢ準備①					
	第15回	保育実習ⅡⅢ準備②					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)
科目名	実習指導Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を」行う				
授業のねらい (到達目標)	外部実習に向けて準備を充実する <ul style="list-style-type: none"> ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認し、多方面から「活動」を考える。 ・実習の振り返りをその都度行い、課題や反省点を明確にし次の実習に繋げる。 ・見通しをもち、臨機応変に動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。 				
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等				
授業計画	第1回	保育実習ⅡⅢの準備			
	第2回	保育実習ⅡⅢの振り返りをする			
	第3回	実習の振り返りをまとめる			
	第4回	事例検討①			
	第5回	事例検討②			
	第6回	行事予定について			
	第7回	行事予定について			
	第8回	事故防止安全対策について①			
	第9回	事故防止安全対策について②			
	第10回	事故防止安全対策について③			
	第11回	クラスだよりについて			
	第12回	クラスだよりについて			
	第13回	連絡帳の記入について①			
	第14回	連絡帳の記入について②			
	第15回	連絡帳の記入について③			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)		
科目名	卒業研究	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	池 茜	実務経験の有無	×				
実務経験教員の経歴							
授業のねらい (到達目標)	当校での学習の集大成として、卒業論文の執筆及び発表を行う。						
授業概要	卒業論文の執筆、プレゼンテーション用資料作成、論文発表						
テキスト							
授業計画	第1回	卒業論文の書き方					
	第2回	卒業論文の書き方					
	第3回	テーマ決め					
	第4回	テーマ決め					
	第5回	調査・研究					
	第6回	調査・研究					
	第7回	調査・研究					
	第8回	調査・研究					
	第9回	調査・研究					
	第10回	調査・研究					
	第11回	調査・研究					
	第12回	調査・研究					
	第13回	卒業論文執筆					
	第14回	卒業論文執筆					
	第15回	卒業論文執筆					
単位認定 ・ 評価方法	授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)		
科目名	卒業研究	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	池 茜	実務経験の有無	×				
実務経験教員の経歴							
授業のねらい (到達目標)	当校での学習の集大成として、卒業論文の執筆及び発表を行う。						
授業概要	卒業論文の執筆、プレゼンテーション用資料作成、論文発表						
テキスト							
授業計画	第1回	卒業論文執筆					
	第2回	卒業論文執筆					
	第3回	中間発表					
	第4回	中間発表					
	第5回	卒業論文執筆					
	第6回	卒業論文執筆					
	第7回	卒業論文執筆					
	第8回	卒業論文執筆					
	第9回	プレゼンテーション準備					
	第10回	プレゼンテーション準備					
	第11回	プレゼンテーション準備					
	第12回	プレゼンテーション準備					
	第13回	プレゼンテーション準備					
	第14回	卒業論文発表					
	第15回	卒業論文発表					
単位認定 ・ 評価方法	授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)		
科目名	一般教養	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	長島 弘一	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立小学校での36年の勤務経験を生かし、現場で求められる保育者の資質について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	・社会人として求められる知識、教養を授業から学び、確実に習得することを目指す。						
授業概要	・下記テキスト等から、問題を取捨選択し、短期間に効率よく筆記試験対策を行う。 ・可能な限り、解説を行い、一人一人に適切な指導・助言が行えるように努める。						
テキスト	「一般常識チェック&マスター」等の問題を使用						
授業計画	第1回	・国語①問題1～2、数学①問題1～2を行う。					
	第2回	・国語②問題2～3、数学②問題2～3を行う。					
	第3回	・国語③問題3～4、数学③問題3～4を行う。					
	第4回	・国語④問題4～5、数学④問題4～5を行う。					
	第5回	・国語⑤問題5～6、数学⑤問題5～6を行う。					
	第6回	・国語⑥問題6～7、英語①問題1～2を行う。					
	第7回	・国語⑦問題7～8、英語②問題2、5を行う。					
	第8回	・国語⑧問題8～9、英語③問題5、社会①問題1を行う。					
	第9回	・国語⑨問題27～30、社会②問題2を行う。					
	第10回	・社会③問題3を行う。					
	第11回	・社会④問題4を行う。					
	第12回	・社会⑤問題5を行う。					
	第13回	・社会⑥問題6を行う。					
	第14回	・社会⑦問題7を行う。					
	第15回	・社会⑧問題8を行う。					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)									
科目名	一般教養	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	長島 弘一	実務経験の有無		○										
実務経験教員の経歴	公立小学校での36年の勤務経験生かし、現場で求められる保育者の資質について実践的な指導を行う。													
授業のねらい (到達目標)	・社会人として求められる知識、教養を授業から学び、確実に習得することを目指す。													
授業概要	・下記テキスト等から、問題を取捨選択し、短期間に効率よく筆記試験対策を行う。 ・可能な限り、解説を行い、一人一人に適切な指導・助言が行えるように努める。													
テキスト	「一般常識チェック&マスター」等の問題を使用													
授業計画	第1回	・国語①問題10、社会①問題3、要点P14、15を行う。												
	第2回	・国語②問題11、社会②問題20、要点P16、17を行う。												
	第3回	・国語③問題12、社会③問題21、要点P18、19を行う。												
	第4回	・国語④問題13、要点P24～27を行う。												
	第5回	・国語⑤問題14、要点P20～23を行う。												
	第6回	・国語⑥問題15、要点P10、11を行う。												
	第7回	・国語⑦問題16、要点P28、29を行う。												
	第8回	・国語⑧問題17、要点P30、31を行う。												
	第9回	・国語⑨問題18を行う。												
	第10回	・国語⑩問題19を行う。												
	第11回	・数学①問題8を行う。												
	第12回	・数学②問題10、要点P220、221、224、225を行う。												
	第13回	・数学③問題12を行う。												
	第14回	・理科①問題1、2、要点P232、233、240、241を行う。												
	第15回	・理科②問題3、4を行う。												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期		
科目名	卒業制作	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	池 茜	実務経験の有無	×				
実務経験教員の経歴							
授業のねらい (到達目標)	当校での学習の集大成として、卒業制作を行う						
授業概要	当校での学習の集大成として、卒業制作を行う						
テキスト							
授業計画	第1回	テーマ決め					
	第2回	テーマ決め					
	第3回	テーマ決め					
	第4回	卒業制作					
	第5回	卒業制作					
	第6回	卒業制作					
	第7回	卒業制作					
	第8回	卒業制作					
	第9回	卒業制作					
	第10回	卒業制作					
	第11回	卒業制作					
	第12回	卒業制作					
	第13回	卒業制作					
	第14回	卒業発表					
	第15回	卒業発表					
単位認定 ・ 評価方法	授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%